

102 コノハズク

(フクロウ目)

兵庫県ランク: A

Otus sunia

繁殖個体群:A 越冬個体群:無 通過個体群:A

環境省ランク:

種の概要

南アジア南部からインドシナ半島、中国、シベリア南東部、朝鮮半島北部、サハリン、日本などで繁殖する。北方のものは、繁殖後は南アジアから東南アジアに渡り、越冬する。日本には春に渡来し、北海道、本州、四国、九州で繁殖する。よく茂った広葉樹の原生林に生息し、樹洞に営巣する。主に林内で昆虫類を捕食する。渡りの時期には平地の農耕地やヨシ原などにも飛来することがある。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、対馬、五島列島、男女群島、草垣群島、宇治群島、種子島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、琉球諸島



写真提供：丹羽英之

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、豊岡市、加古川市、三木市、高砂市、養父市、南あわじ市、宍粟市、播磨町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○	○			○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に5-11月に記録がある。但馬地域の標高800m以上の森林では繁殖期に鳴き声がよく聞かれており、1989年には抱卵中の巣が確認されていた。近年の森林開発により繁殖地の多くが失われ急減している。個体数は極めて少ない。春秋の渡りの時期には、都市近郊も通過するが、事故例も少ない。

保護上の留意点

県北部の垂高山地域に限定して分布しており、生息地である氷ノ山後山那岐山国定公園、但馬山岳県立自然公園の保全が本種の保護に直結する。